

講義名	観光学原論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	辻本 千春		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	24058

主題と概要

観光のあり方が変わってきています。1990年代のインターネットの登場により、それまでのマストツーリズムの形態が大きく変わり、少人数、グループ主体の観光形態が多くなりました。さらに観光目的が物見遊山的な観光から目的を明確にした観光、いわゆるニューツーリズムに置き換わってきています。国内観光だけではなく国際観光も変化し、特にインバウンドの目覚ましい伸びがあり、その点でも観光の変化が大きくなっています。

この授業では、大きく4つの括り、観光学の基礎、観光産業論、観光政策論、応用観光論、で観光の定義や概念を理解しながら、急速に変わりつつある観光関連産業や旅行事業の変化の背景やそのマネジメントについて具体的に学びます。

到達目標

- a. 知識・理解 ・観光の定義について説明できる。
・観光の歴史的な変遷を具体的に説明できる。
- b. 思考・判断 ・観光に関連する事業のマネジメントについて、問題解決方法を自分で考えることができる。
- c. 関心・意欲 ・観光、国際観光あるいは観光関連産業を自分のキャリアと関連して考えることができる。
- d. 技能・技術 ・観光産業に進む場合は、資格取得に挑戦することが出来る。
- e. その他 ・学んだマネジメントやマーケティング手法を他の業種や業態に当てはめることが出来る。

提出課題

・毎回小レポートを課します（出席確認を兼ねる）。8回目の授業で確認小テストを行います。

評価の基準

・授業回数の3分の1（5回）を欠席すると定期テスト（あるいはレポート）の受験資格はありません。

・平常点40%（小レポートを含む）、定期試験（またはレポート）60%（中間小テストを含む）とし、総合評価とします。なお、欠席、遅刻は平常点の減点対象とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・座席指定を行います。
 - ・授業中の携帯・スマホの使用は禁止します。
 - ・そのほか私語、着帽等は許可しません。
- ・注意しても改善されない場合は、欠席扱いとなります。

教科書

入門観光学	竹内正人ほか2名	ミネルヴァ書房 2800	ISBN978-4-

プリント資料及び参考文献

・必要に応じてプリントを配布します。
・参考文献・・・必要があれば紹介します。

授業計画

- 第1回 はじめに（授業計画、授業の目的、進め方など）観光とは
- 第2回 観光の歴史
- 第3回 世界と日本の観光の歴史
- 第4回 観光と旅行者の行動
- 第5回 観光対象と観光行動
- 第6回 観光と産業・経済
- 第7回 観光産業の定義と経済効果
- 第8回 旅行産業
- 第9回 旅行産業の特質と現状、展望
- 第10回 宿泊産業
- 第11回 宿泊産業の現状と展開
- 第12回 運輸産業
- 第13回 運輸産業と観光
- 第14回 テーマパーク産業
- 第15回 テーマパークの歴史とこれから
- 第16回 観光産業とホスピタリティー
- 第17回 サービスとホスピタリティー
- 第18回 観光立国と国際観光
- 第19回 観光政策と訪日観光
- 第20回 諸外国の観光政策
- 第21回 シンガポールの観光政策
- 第22回 地域観光とまちづくり
- 第23回 観光と地域振興
- 第24回 ニューツーリズムと観光
- 第25回 メディカルツーリズムとフードツーリズム
- 第26回 観光のマネジメント
- 第27回 観光地経営とは
- 第28回 これからの観光 まとめ

予習・復習

- ・教科書を読んで予習と、毎回の復習が必要です。
- ・観光に関する情報は日々新しくなっていますので、教科書以外にも新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。

備考

- ・この科目は「観光の基礎を学ぶ」講義です。専門科目の基礎となりますので、理解に努めてください。また、観光関連産業への進路を考えている学生にとっては観光全体を学べるよい機会です。
- ・2年生以上は「企業論特別講義（サービス業）」の受講を勧めます。授業に出てくる業界のトップの方々が業界のことにについて講義します。